

日本地球惑星科学連合大会における気象学会主催セッションの提案募集 および気象学会によるセッションの共催について

講演企画委員会

日本気象学会では、2010年度より日本地球惑星科学連合大会（連合大会と略す）において下記のような方針で、主催セッションを提案することとしております。つきましては、2022年度の連合大会での開催に向け、会員の皆様の提案を募集いたします。

また、気象学会を共催団体とするセッション等（学協会セッション）を予定されている場合には、気象学会としても共催セッションとして積極的に支援したいと考えています。気象学会共催をご希望の場合にも、提案書（セッション名・内容説明・提案母体・予定コンビーナー）を講演企画委員会まで下記要項によりご提出ください。共催セッションの数に制限は設けておりませんので、数多くのセッションを気象学会共催としたいと思います。積極的にご提案ください。

気象学会主催セッション提案要項

- ・セッション名を「最新の大気科学」とし、サブテーマとしてその年のテーマ（大気科学分野の特定の分野）をつける。サブテーマとコンビーナーは毎年公募する。
- ・セッションには招待講演を設けて最先端の大気科学の成果を他分野に紹介するとともに、気象学会員と非会員の双方からの一般講演を募集し、日本惑星科学連合における大気科学および関連諸分野の学术交流と研究発表の場とする。
- ・応募が複数あった場合等については、講演企画委員会および理事会の議論を経てどのように行うかを決定する。
- ・サブテーマおよびコンビーナーの決定後はその運営をコンビーナーにゆだねる。学会は必要に応じてその宣伝等の広報活動を行う。

今後のスケジュールの概略

2021年10月1日（金）：主催セッション募集の締め切り

2021年10月：講演企画委員会、理事会での承認、連合へのセッション提案

2021年11月：連合によるセッションの採択の決定

2022年1月～2月：連合ホームページにて講演募集

2022年3月：プログラムの決定

2022年5月22日（日）～5月26日（木）：連合大会（会場：千葉県千葉市幕張）

なお、大会終了後、コンビーナーの方には800字程度でセッションの報告を執筆していただき、「天気」にすみやかに記事を投稿してくださるようお願いいたします。

サブテーマとコンビーナーの募集要項

以下の事項を明記して郵便もしくは E-mail でお申し込み下さい。

- (1)サブテーマ名
- (2)サブテーマの趣旨説明（400 字程度）
- (3)コンビーナー（1～3名）の氏名・所属および代表者の連絡先（電話・Fax および E-mail)

採択された場合、上記を日本気象学会ホームページ上に掲載します。要望があれば電話・Fax 番号，E-mail アドレスも掲載します。

申込先

日本気象学会講演企画委員会事務局

E-mail : jpgu-met@metsoc.jp

申込期限

2021 年 10 月 1 日（金）必着

（セッション共催についても、できるだけ上記締め切りまでにお知らせください。締め切り後に決まったセッション共催提案に関しても、随時連絡いただければ可能な範囲で対応いたしますが、遅くとも 10 月末までをお願いします。）

これまでの開催歴

- 2010 年度：「北極圏の気候変動」（セッション A-AS002）
- 2011 年度：「大気・海洋・地球環境における乱流の数値解析」（A-AS022）
- 2012 年度：「中高緯度大気海洋相互作用と気候」（A-AS03）
- 2013 年度：「福島原発事故放射能の大気・陸圏輸送、沈着問題」（A-AS24）
- 2014 年度：「航空機による大気科学・地球観測研究の展開」（U-04）
- 2015 年度：「Satellite Earth Environment Observation（衛星による地球環境観測）」（A-CG09）
- 2016 年度：「High performance computing of next generation weather, climate, and environmental sciences using K」（A-AS02）
- 2017 年度：「International Field Campaign - Years of the Maritime Continent（YMC）」（A-AS03）
- 2018 年度：「台風研究の新展開～過去・現在・未来」（A-AS03）
- 2019 年度：「ダスト」（M-IS09）
- 2020 年度：「東アジアの異常天候・都市災害と気候変動との関わり」（A-AS02）